

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	八王子市都市政策研究所の運営	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	新たな時代に対応する先駆的政策や施策を学識者・市民・職員が共同で調査研究し、①実効性ある政策の開発、②政策の発信を行う。研究テーマは「人口構造の変化を見据えた八王子のまちづくり」と「日常生活圏に着目した市民サービスの充実」。	約1年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	特になし	東京経済大学現代法学部 東海大学政治経済学部 政策研究大学院大学	
2	総合経営部 広聴課	八王子市市民参加推進審議会	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民の市政への参加を推進するとともに市民参加条例の適切な運用を図るための議論を行う。	1年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。学生としての意見を取り入れることで、議論の幅が広がる。	特になし	杏林大学 首都大学東京	
3	市史編さん室	市史編さん室職員の大学図書館利用	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん室職員による法政大学多摩図書館の利用。	平成21～28年度(予定)	豊富な所蔵資料の閲覧・貸出が許可されたことにより、市史編さんに必要であるが、貴重かつ高価で入手困難な専門図書を利用することが可能になった。	特になし	法政大学	多摩図書館
4	市史編さん室	八王子市市史編さん審議会	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん事業の適正な推進を図るため、市史編さんの基本構想の策定に関する事項、編集方針に関する事項、その他市史編さん事業の推進に関する事項について調査審議し答申する。	平成20～28年度(予定)	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、市史編さん事業の推進に生かすことができる。	特になし	中央大学 成蹊大学 東海大学	
5	市史編さん室	八王子市市史編集委員会	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	市史の編さんについて専門的知識を有する大学教員などの学識経験者等により組織し、市史の内容や構成など、市史編集に関わる専門的事項について協議する。	平成21～28年度(予定)	委員の持つ専門的な知識や経験を生かし、市史の編集を進めることができる。	特になし	中央大学 専修大学 成蹊大学 東海大学 国学院大学	
6	市史編さん室	八王子市市史編集専門部会	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編集専門部会へ、大学教員ならびに大学院生等が参加し、各専門分野ごとに具体的な調査研究を実施。	平成21～28年度(予定)	市史編さんの各分野について専門的知識を有する者を委員に迎えることにより、高度かつ効率的な調査研究を行うことができる。	特になし	中央大学 創価大学 首都大学東京 ほか	
7	市史編さん室	『新八王子市史』自然編の原稿執筆	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	『新八王子市史』自然編の編さんのため、特定部会委員として専門部会に参加し、地質・地形・気象分野の執筆を行う。	平成23～平成28年(予定)	専門分野における高度な知識と経験を生かすことにより、より質の高い市史の編さんが可能となる。	特になし	首都大学東京	地理学研究科

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
8	行財政改革部 行革推進課	八王子市行財政改革推進審議会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行財政改革の基本方針及び行財政改革の推進に関する重要事項についての調査審議を行う。	任期2年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行財政改革に活かすことができる	特になし	法政大学 創価大学 中央大学	経済学部教授 経済学部教授 法学部教授
9	行財政改革部 行政管理課	八王子市外部評価委員会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行政評価の客観性をより一層高め、市民の視点及び学識経験者の専門的な視点での評価を取り入れた外部評価を実施	1年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行政評価に活かすことができる	特になし	中央大学 創価大学 法政大学 首都大学東京	商学部教授 経済学部教授 現代福祉学部准教授 都市教養学部准教授
10	市民活動推進部 協働推進課	市民企画事業補助金	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民活動団体が企画・実施する公益的な事業に対し、事業費の一部を補助する制度。庁内での確認・評価の上、外部委員による審査を行い、対象事業を決定する。	1年任期	学識経験者が審査に加わることにより、提案事業に対して客観的で深い見識による実現性についての審査が行える。また、制度に対する広い視野からの公共サービスの在り方について提言がもらえる。	特になし	首都大学東京 (八王子学生委員会)	
11	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	地域ふれあい子ども交流教室	まちづくり	その他	八王子地域で学ぶ大学生と、地域の子どもたちとの交流を目的とし、学習支援及び交流のためのレクリエーションを行う。	平成25年8月20・21・22・23日	地域の子どもの保護者に、大学生と大学に興味を持ってもらうと同時に、学生の地域に対する理解を深める。	夏休み期間中のため 人員の確保	東京工科大学 (八王子学生委員会)	
12	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	コミュニティカレッジ	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市内各地域においてコミュニティ活動を行う方を対象とし、地域コミュニティづくりのための講座を開催する。	平成26年2月26日・3月5日・12日・19・26日	地域でのコミュニティ活動を行う方に向け、地域コミュニティづくりのための専門的な講座を開催することにより、地域活動の活性化を見込める。	地域コミュニティづくりのためのテーマに合致する講師の選定及び日程確保	首都大学東京 立教大学	首都大学東京 都市教養学部都市政策コース 教授 立教大学社会学部現代文化学科教授
13	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり案内及びグッズ販売 主催：八王子まつり実行委員会	まちづくり	その他	八王子まつり開催にあたり駅等に設置の案内所におけるパンフレット等配布による観客への案内及び販売ブースでのグッズ販売員としての人的協力警備・清掃	八王子まつり開催の3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	夏休み中の人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
14	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	地域ふれあい講座	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	各地域住民協議会が、地域住民の要望に即した各種公開講座を実施する。	年16回	地域住民が要望する内容について、専門的な講座とすることが期待できる。			

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
15	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	第15回記念 フラワーフェスティバル由木	まちづくり	その他	フラワーフェスティバル由木開催にあたり、案内所及びプレイランドでの手伝いとしての人的協力	まつり開催 の2日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	新年度早々行事のため人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学	
16	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	第34回八王子 いちよう祭り 主催:いちよう祭り祭典委員会	まちづくり	その他	八王子いちよう祭り開催にあたり案内所でパンフレット等配布による観客への案内及びグッズ販売員あるいはイベント警備や会場清掃としての人的協力	まつり開催 から開催 後までの3 日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	人員確保。 学校行事(学園祭)と重なると協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 法政大学	
17	市民活動推進部 学園都市文化課	学生と市長との ふれあい トーク	まちづくり	市の事業に大学等が協力	まちづくりに関する幅広い分野で研究・活動を行っている学生達に日頃の活動の成果やまちづくりに対する提案を発表してもらい、市長と意見交換を行う。	平成18年 ~	本市のまちづくりについて市長との意見交換を交えた中で学生から貴重な意見、提案がなされ今後のまちづくりの参考とすることができた。また、来場者(学生・市民)に学生の活動やアイデアなどを知ってもらう良い機会となった。	多くの大学からの提案がもらえない。	杏林大学,東京工科大学,創価女子短期大学,山野美容芸術短期大学,創価大学,デジタルハリウッド大学	進邦ゼミナール,サービス&ユーザビリティデザイン,水元研究室,久野新ゼミナール,美容福祉実践研究グループ,勤坂純市研究室,高橋光輝研究室,西浦昭雄研究室
18	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子学園都市大学評議会	生涯学習	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学園都市大学の重要事項を審議する評議会委員への就任を参加大学へ依頼。	任期2年	八王子学園都市大学の運営方針などについて実際に講座を提供している大学側の意見を反映させることにより、より充実した内容にすることができる。	なし。	創価大学 東京工科大学 ヤマザキ学園大学	
19	市民活動推進部 学園都市文化課	大学と連携した情報収集のしくみづくり	まちづくり	市の事業に大学等が協力	大学の研究室が独自に収集・作成している八王子に関するデータを共同で有効活用できるしくみの構築。	長期継続	大学の収集・研究したデータを活用し、市の特性を把握することで、事業や計画実施に役立てる。	なし。	工学院大学、明星大学、東京工業高等専門学校、帝京大学、帝京大学短期大学、東京造形大学、東京純心女子大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、創価女子短期大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、日本文化大学、法政大学、東京工科大学、首都大学東京、山野美容芸術短期大学、ヤマザキ学園大学、東京家政学院大学、サレジオ高専、デジタルハリウッド大学	
20	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子市文化振興推進委員会	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市文化振興計画の進捗状況を確認し、評価や見直しにより計画を着実に推進していくため、必要な提言などを行う。	任期2年	専門分野について、より充実した内容にすることができる。	なし	東京造形大学 日本大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
21	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	伝統文化ふれあい事業	生涯学習	市の事業に大学等が協力	街なかで市民が伝統文化にふれる機会を創出し地域資源の新たな発見と積極的な活用をはかるもの	平成18年度から継続	学生の感性を取り入れた事業が行える。 学生にも伝統文化にふれる機会を提供できる。 市民と学生との交流ができる。	時期により学生の協力を得られない	杏林大学	杏林大学 遠山ゼミ 古本ゼミ
22	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 経営管理課	評議員会 諮問委員会	その他	その他	財団の評議員、諮問委員に大学関係者を選任している。	常時	学生の事業への参加・関心の促進 直接、財団事業について意見交換ができる。	特に無し	工学院大学 東京工科大学	
23	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子地域23大学等留学生日本語弁論大会	教育	その他	地域23大学等の留学生が事前に出題されたテーマに対し、日本語で自分の考えを発表する。	毎年11～12月頃	発表者は市より国際交流推進特使(国際フレンド)に任命され、母国と市の交流推進に寄与してもらう。 留学生の考えを知ることができる。 日本語能力の向上の場の提供。	参加する学生(大学)が限定されてきている。	地域23大学等	
24	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生天国	まちづくり	その他	八王子学生委員会及び地域23大学等の学生有志による「八王子地域合同学園祭」。	平成17年～	市が協力することにより市民への周知など対外的なPRの面で効果がある。	行政の役割の確認。	八王子学生委員会 地域23大学等の学生有志	
25	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生発表会	産業振興	その他	大学コンソーシアム八王子を構成する大学等の学生に、研究成果を発表する場を提供し、大学間の交流を図るとともに、企業・大学関係者及び市民から講評等を受ける機会を提供することにより、産学連携及び地域活性化に資することを目的とした「学生発表会」を開催。また、学生のアイデアを市長に直接提案する「学生と市長とのふれあいトーク」と融合し実施。	H15年4月～	研究成果発表・アイデア発表は年々発表件数、参加者が増加している。 学生の研究成果・アイデアを企業や市政に提言することによる地域の活性化。	企業の参加が伸び悩んでいる。	地域23大学等	
26	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生企画支援補助事業	教育	その他	地域23大学等の学生や学生と市民の交流を目的としたイベント企画を支援補助する事業	平成17年～	学生の企画運営の相談を行い、学生相互及び学生と市民の交流ができる。		地域23大学等	
27	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	公開講座の共催	施設利用	その他	学園都市センターを会場に開催される各大学の公開講座のポスター・チラシによるPR等の実施	H14年4月～	大学等との協力による講座の提供により、市民に対し生涯教育の一助となる機会を提供することができた。		地域23大学等	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
28	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム 八王子	八王子市学園 都市推進会議	まちづくり	その他	シティインデックスの発行とホームページの更新 学生フェスティバルの開催 いちよう祭りへの参加 留学生日本語 弁論大会の実施 大学生と市民・少年 野球チームの小学生との交流会の実 施	H14年4月 ～	新入生のための生活便利帳「シ ティインデックス八王子」を地域23 大学等へ配布 音楽祭・書道展・写真展・美術展な ど学生フェスティバルへ多数の大学 から参加 留学生日本語弁論大会を共催		地域23大学等	
29	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム 八王子	八王子学生委 員会	まちづくり	その他	学生天国の実施やいちよう祭りへの参 加など学校間の壁を越え、学生がいき いきと地域で活動できる街をめざす	H14年4月 ～	各大学へ学生委員会の委員や学 生天国等イベントへの参加・協力者 を募った。		地域23大学等	
30	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学 園都市文化ふれあ い財団 学園都市振興課	八王子学園都 市大学	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	周辺部を含めた地域23大学等と連携 し、高度で専門的な学習機会を継続的 に提供することにより、市民の生きが いづくりや地域の活性化に寄与するも の。	平成16年 9月～	高度な教育を通じて人材育成が図 られ、まちの活性化につながる。市 民が大学をより身近に感じられる 「学園都市づくり」が促進される。		地域23大学等	
31	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学 園都市文化ふれあ い財団 学園都市振興課	八王子地域2 3大学情報 コーナー	その他	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する 地域23大学等の学校案内、入学案内 などを市民に提供。	平成20年 ～	地域にある大学を紹介し、より多く の人にも知ってもらおう。		地域23大学等	
32	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学 園都市文化ふれあ い財団 学園都市振興課	学生交流サロ ン貸出事業	その他	その他	大学の学生や教員、また学園都市大 学の受講生が無料で打合せ等に利用 できるスペースを開放した。	平成18年 ～	学生が打合せ等ができる空間を確 保し、学生が集まり易い環境とし た。	一般の利用者との違 いがわかりにくい	地域23大学等	
33	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム 八王子	大学コンソー シアム八王子 情報	まちづくり	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する 地域23大学等の魅力を広くPRし、大 学・学生・市民等との連携、交流の促 進を目的に作成。	平成21年 ～	大学コンソーシアム八王子の設立 及び地域23大学等の魅力や存在 をあらためて周知することで、「学園 都市八王子」のイメージアップが図 られた。また、各学園祭やコンソー シアムで開催する事業において大 学・学生と市民等との交流の促進 に貢献した。		地域23大学等	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
34	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム 八王子	夏休み子ども いちょう塾	教育	その他	幅広い分野の学部が所在する特色を活かして、八王子地域の小学生4～6年生を対象に、夏休みの特別講座を開講する。文系理系を問わず幅広い科目を提供する。	7月28日	地域の小学生とその保護者が、大学の教員という別の視点で授業を受けることで、大学に興味を持ってもらうと同時に、様々な科目に興味を持ってもらう。	予算の確保	工学院大学、明星大学、東京純心女子大学、多摩美術大学、創価大学、東京薬科大学、拓殖大学、日本文化大学、東京工科大学、東京家政学院大学、サレジオ工業高等専門学校	
35	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム 八王子	FD・SDフォー ラム	教育	その他	コンソーシアムに加盟する23大学等の連携による資源の共有化と相互補完、効率的な教育改革の推進	平成23年 ～	連携大学等の教職員が共通して直面する問題、課題などについて情報交換ができるとともに、教職員の意識改革や資質向上に繋がる取組みとなる。	参加者の確保	地域23大学等	
36	市民活動推進部 学園都市文化ふれあ い財団 夢美術館	学芸員実習の 受入	教育	その他	学芸員資格を取得するために必要となる博物館実習を夢美術館で希望する学生を受け入れる。	5日間	①学生に実習の場を提供でき、また大学との協力体制が取り易くなる。 ②将来他の美術館との連携の可能性が広がる。	受入人員に限られるため、市内在学、在住を優先	東京造形大学、東京純心女子大学、多摩美術大学、実践女子大学、帝京大学、首都大学東京	
37	市民活動推進部 学園都市文化ふれあ い財団 夢美術館	博物館見学実 習	教育	その他	大学が開講する博物館見学実習の場を提供し職員が対応した。	1日	学生の美術館への理解を深めることができる。出席者は、大学の正規の単位となる。	特になし	首都大学東京	システムデザイン 学科
38	市民活動推進部 学園都市文化ふれあ い財団 芸術文化会館	インターンシ ップ	芸術・文化	市が大学等に ボランティアを 依頼	学生に実務の体験と学習の場を提供し、その経験を文化活動に活かし、舞台技術を通じて、「活動する人」として、文化の担い手(文化人)となる環境づくりに資する。	1年	その経験を文化活動に活かし、学園都市振興や文化人の育成に資する。	出席回数の確保 (習熟度を上げたい)	25年度は、 日本工学院八王子専門学校との インターンシップ実現に向け調整中	日本工学院八王 子専門学校 コンサート・イベント科
39	市民活動推進部 学園都市文化ふれあ い財団 芸術文化振興課	八王子シア タープロジェクト 公演	芸術・文化	その他	ふれあい財団が企画した演劇ワークショップを母体として2008年に旗揚げした市民劇団による公演。財団が継続してサポートを行い、今回が第3回目の公演である。	1年	演劇ワークショップの時期に指導を担っていた教員から専門的なサポート・アドバイスを受けることにより、明確なレベルアップがみられている。	特になし	多摩美術大学	造形表現学部 映像演劇学科
40	市民活動推進部 学園都市文化ふれあ い財団 夢美術館	東京造形大学 フラッグキャリー プロジェクト	芸術・文化	その他	東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域の授業の一環としてとり組まれた学生のデザインによるフラッグを作成し、西放射線商店街の協力を得て西放射線ユーロードのポールに掲出、広く市民に公開する。	H24.7.22～ H24.12.13	多くの学生が参加し、街の賑わいを創出できた。また、継続をすることで商店街とのコミュニケーションが図れている。	特になし	東京造形大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
41	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	八王子音楽祭 音楽の森	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	音楽祭のPR用チラシやパンフレットのデザイン、会場装飾のデザインを学生が行う。	約半年	PRに学生らしい若く新鮮な感覚を取り入れられる。 デザインコースの学生が実践を通して学び、スキルアップを図ることができる。 業者委託の場合は、20万円程度のデザイン費用がかかるが、大学生に依頼し大学のカリキュラムのなかで取り組み無料で実施。	特になし	日本工学院八王子専門学校	デザインカレッジ (山口・飛塚ゼミ)
42	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	ロビーコンサート運営ボランティア	教育	市が大学等にボランティアを依頼	7月のロビーコンサートの準備・片付け・チラシ配り・音響準備(機材の設置)やお客様の誘導などについて学生を活用する。	H24.7月 14・21・29日	ボランティアを通じて、社会を知る機会を提供する。大学生に南大沢文化会館を知ってもらい、これからの利用にも結びつける。	特になし	東京工科大学	メディア学部
43	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	会館までの分かり易い経路誘導の改善	その他	市の事業に大学等が協力	会館までの経路や経路誘導を改善するため、大学の専門家に依頼する。	2年	お客様から、会館までの導線がわかりにくいとの声が多くあり、専門家に考えてもらうことにより、分かり易い表示・看板等のアイデアを提供してもらう。	特になし	首都大学東京	産学公連携センター
44	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際交流フェスティバル	国際交流	市の事業に大学等が協力	毎年9月に開催する国際交流フェスティバルの周知用ポスターの原案を大学の授業で作成してもらい、数点をフェスティバル開催時に会場に展示する。	5月～6月 展示は9月	学生の感性を取り入れることで、国際交流フェスティバルへの若い世代への参加の促進につながる。		サレジオ高専	
45	市民活動推進部 多文化共生推進課	高雄ランタンフェスティバルへのパフォーマンス団派遣	国際交流	市の事業に大学等が協力	本市の海外友好交流都市である台湾・高雄市で開催される「高雄ランタンフェスティバル」に地域23大学等を代表し、法政大学のよさこいソーランサークル「鳳遙恋」に出演いただくもの。	1年	1. 台湾・高雄市の多くの市民の方に、日本の文化を知っていただくことができる。 2. 高雄市との友好関係が深まると共に、市民交流の促進につながる。	特になし	拓殖大学	国際ボランティア愛好会
46	市民活動推進部 多文化共生推進課	地域のイベントへの参加	国際交流	その他	地元町会・自治会等で開催されるまつりや防災訓練に、八王子国際協会と連携し外国人留学生が参加。	1年	1. 外国人留学生が日本の文化を体験する機会につながる。 2. 地元町会・自治会の方々が、外国人留学生と交流を通じて、異文化を理解する機会が得られる	特になし	地域23大学等	外国人留学生
47	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	男女共同参画施策推進委員会委員	2年	男女共同参画施策の推進及び男女共同参画センター運営について学識者の意見として参考とする。	特になし	首都大学東京	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
48	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画 センター運営	その他	大学等の研究 事業に市が協 力	大学からの協力依頼により市職員が 大学へ出向き、「男女が共に生きるま ち八王子プラン」(第2次)の取組み とデートDVについての講義。	必要に応じ て	これからの社会を担う学生たちに対 し、男女共同参画の理解やDV・ デートDVなどの認識を深めてもら い、女性に対する暴力を許さない地 域社会の実現を図る。	特になし	中央大学	
49	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画 センター運営	その他	その他	大学コンソーシアム八王子を通じて、 デートDV防止・啓発のためのリーフ レット配架を依頼。	必要に応じ て	学生に向けてデートDV防止のため の情報を届けることは容易ではな いが、大学に設置することで、情報 提供が進んだ。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟大 学	
50	総務部 総務課	平和推進事業	その他	市の事業に大 学等が協力	次代を担う若い世代に、「戦争」「八王 子空襲」の記憶継承と平和の大切さ を感じ取ってもらうため、公募市民等 からなる平和展実行委員会に参画し てもらい、平和展の企画や事前準備 及び撤去、開催期間中の会場運営 を依頼した。	H25 3~9月	平和展の企画・運営に関して、学 生の視点ならではのアイデアを多 く採用できたほか、心のこもった 運営により来場者にも好評を得る ことができた。	特になし	帝京大学	
51	総務部 総務課	情報公開・個 人情報保護審 査会	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	公文書の公開請求及び個人情報の開 示請求に係る実施機関の決定に対 する不服申立てについて、実施機 関からの諮問に応じ、第三者の立 場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を 有しているため、審議において大 変有用である。	学識経験者に関する 情報が不足しており、 委員の選任が困難で ある。	創価大学 法政大学 首都大学東京	
52	総務部 総務課	情報公開・個 人情報保護運 営審議会	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	情報公開・個人情報保護制度の運 営に関する重要事項等について、 市長の諮問に応じ、第三者の立 場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を 有しているため、審議において大 変有用である。	学識経験者に関する 情報が不足しており、 委員の選任が困難で ある。	東京大学 中央大学	
53	総務部総務課	政治倫理審査 会	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	政治倫理に関する事項についての 調査請求に対して、市長からの付 託に応じ、第三者の立場で審議 調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を 有しているため、審議において大 変有用である。	学識経験者に関する 情報が不足しており、 委員の選任が困難で ある。	首都大学東京	
54	総務部 職員課	インターンシ ップ	その他	その他	大学のカリキュラムの一環である インターンシップの受入れ。	各大学と の協定に より決定	学生に公務員の仕事や本市の施 策等を理解してもらう機会にな るとともに、市側が学生の意見・ 提案に直接触れる機会となってい る。	事業を実施する上で、 今の20名程度の受入 れが上限である。今 後も大学からの受入 要望が増加するよう だと実施方法の検討 が必要	中央大学、法政大学、創価大学、 首都大学東京、帝京大学、杏林 大学、明星大学、拓殖大学、工 学院大学	
55	税務部 住民税課	軽自動車税の 賦課(課税客 体の適正な把 握)	その他	市の事業に大 学等が協力	原動機付自転車の廃車手続きPRポ スター掲示の依頼並びに大学の ホームページへの原動機付自転 車の廃車PR文掲載及び市ホーム ページの原動機付自転車に関 する手続きのページへのリンク 設定の依頼	12月上旬	大学生が所有する原動機付自転 車について、廃棄、譲渡、市外 転出、盗難・紛失したときの廃 車手続きの徹底。	特になし	八王子市及び隣接する地域の 大学、短大、高専	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
56	生活安全部 防犯課	八王子市生活 安全対策協議 会	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市生活の安全・安心に関する 条例に基づき、防犯対策などを検討す る	H15年3月 ～現在(任 期は2年)	学生・地域住民・警察・市が様々な 立場からの意見交換を行うことで、 より安全で安心して暮らせるまちづ くりに参加することができる。	特になし	八王子学生委員会	
57	市民部 消費生活センター	悪質商法に騙 されないため の啓発	その他	その他	若者に対して消費生活に関する啓発 活動を行うことにより、自身に消費者 力をつけ、悪質商法から未然に防止す るため、啓発活動の一環としてポス ター、チラシ配布を行った	1年	学生に消費生活に関する啓発をす ることにより、悪質商法から被害を 防ぐことができる	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟各 大学	
58	生活安全部 防災課	災害時におけ る広域避難場 所及び一時避 難場所	防災	市の事業に大 学等が協力	災害時に市民の生命を守るため、広 域避難場所及び一時避難場所として 指定し、施設を使用する	避難場所 としての必 要がなくな るまで	地震火災やその他の大規模火災発 生時の、火災による輻射熱から避 難者の生命を保護するための、 オープンスペース、一時避難場所と して市民の安全確保ができる	特になし	首都大学東京、中央大学、東京薬 科大学、東京工科大学、工学院大 学、創価大学、拓殖大学、明星大学	
59	生活安全部 防災課	災害時ボラン ティア活動に 関する相互協 力	防災	市が大学等に ボランティアを 依頼	大学、消防署、市が連携し、災害時 に大学生のボランティアを活用して災 害対策活動を行うもの。大学は、学生 に向けてボランティアニーズの広報等 を行う。	H18年度 ～	市内の大学に在学する学生の力 を災害時に活用することにより、災 害時ボランティア要員の確保が図 れる。	特になし	創価大学、杏林大学、拓殖大学 帝京大学	
60	生活安全部 防災課	八王子市総合 防災訓練	防災	市の事業に大 学等が協力	災害に備えて消防署・警察署・消防 団・自衛隊などの関係機関と合同で行 う総合防災訓練。	1日	発災時に備え、ボランティア活動や 看護活動等の実践的な訓練を行う 活動ができる。	特になし	工学院大学、東京純心女子大学、 杏林大学、創価大学・創価女子短 期大学、首都大学東京	
61	福祉部 福祉政策課	八王子市地域 保健福祉推進 協議会	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	平成19年度に策定した保健医療・福 祉の総合的な計画である「八王子市地 域保健福祉計画」を円滑にかつ計画 的に推進し、八王子市における保健医 療、福祉に関して総合的な見地から協 議、意見交換を行う。	任期 平成24年8 月1日～平 成25年7月 31日まで (平成22年 8月1日か ら継続)	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行ができる。	特になし	法政大学 杏林大学	
62	福祉部 福祉政策課	八王子市地域 福祉計画策定 検討委員会	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市地域福祉計画策定検討委員 会の学識者委員として参加し、専門 的な見地から意見をいただく。	1年	1.他市事例・国の動きなど専門的な 見地からの意見をもらうことができ る。 2.座長として効率的・公平に意見集 約が行うことができる。	特になし	法政大学 首都大学東京	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
63	福祉部 高齢者いきいき課	八王子市介護 保険運営協議 会委員	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	介護保険事業の円滑な運営を図る。	任期 平成24年9 月6日～平 成26年9月 5日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	特になし	首都大学東京	
64	福祉部 高齢者福祉課	八王子市地域 包括支援セン ター等運営協 議会	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	地域包括支援センター及び地域密着型サービスの公正・中立性の確保並びに適切な運営を図る。	任期 平成24年4 月1日～平 成27年3月 31日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	特になし	法政大学 首都大学東京	
65	福祉部 高齢者いきいき課	シニア元気塾	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	シニア元気塾(基礎講座及び実践講座)で、地域のボランティアの中心的役割を担っていただくための知識の習得を目的として実施	平成24年 9月27～1 1月12日	専門的分野における講演をいただくことで受講生の意識の向上につながっている。		桜美林大学	
66	福祉部 高齢者福祉課	八王子市介護 サービス相談 調整委員	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市介護サービス相談支援会議を構成し、サービス利用者からの不満等について調査及び審議をし、各種サービスを提供する事業者に対して指導、助言、勧告等を行う。	任期 平成23年 11月1日～ 平成25年 10月31日	事業を実施する上で、専門的分野の知識が不可欠であり、支援会議の円滑な運営に必要。	特になし	法政大学	
67	福祉部 高齢者福祉課	家族介護者交 流会	医療・福 祉・健康	市が大学等に ボランティアを 依頼	左記の教室でスタッフとして参加	1日	福祉系学部の学生が参加することで、地域課題の発見につながる。	特になし	創価大学	看護学部
68	健康部 健康政策課	はちおうじ健 康づくり推進 協議会団体参 加	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	はちおうじ健康づくり推進協議会に団体として参加し、市民への健康づくり啓発活動への協力をおこなう。	平成15年 11月～	協議会でおこなう啓発活動を通して、市内各大学に在学する学生の健康づくりに役立て、市民として自分の健康は自分で守る意識向上へつなげる。	特になし	八王子学生委員会	
69	健康部 健康政策課	はちおうじ健 康づくり推進 協議会との協 働事業	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市民が主体的に健康づくりが行えるように「健康づくりサポーター」育成の仕組みづくりをワーキンググループを立ち上げ検討中。アドバイザーとして杏林大学教授が参加。	H21.2～	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	特になし	杏林大学総合政策学部教授	野山修

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
70	医療保険部 大横保健福祉センター	介護予防ロボット製作のための見学	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高専の5か年プロジェクトである事業で、学生が介護予防の現場を見学することで、高齢者の運動能力の実態、体力維持のためのプログラム内容を知り、サービスメカトロ(ロボット)の実用化推進と実践的エンジニアの育成に役立っている。	1年	介護予防の現場で役立つ技術・ソフトの研究開発の一助となることで、学生の高齢者についての理解を深め、現場職員にも外部の刺激を得ることができる。	特になし	東京工業高等専門学校	「社会実装インターン」プロジェクト
71	医療保険部 南大沢保健福祉センター	和楽器演奏会、落語会	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	学生サークルによる和楽器のコンサート及び落語会	年三回	学生達に発表の場を提供でき、異世代間の交流が図れる。	交通費が学生の負担となる。	首都大学東京 創価大学	三曲会 落語研究会
72	医療保険部 東浅川・大横・南大沢保健福祉センター	教育実習	医療・福祉・健康	その他	平成24年6月4日～8日、6月25日～6月29日 地域看護学実習 地域での保健師の活動について学ぶ。	通年	1. 現場における実体験。	特になし	杏林大学	保健学部看護学科
73	健康部 保健対策課(保健所)	エイズ普及啓発 ピアエデュケーション 養成および普及啓発活動	医療・福祉・健康	その他	同世代の仲間同士(ピア)がエイズについて(偏見のない社会づくり、感染拡大防止)考える「ピアエデュケーション」を行う学生を養成し、同年代の若者に対して、普及啓発活動を行う	通年	保健所とピアが共同で啓発を行うことで、知識の普及だけでなく、若い世代と一緒に学び考える場をつくることのできた。	ピアの活動の場を広げるための整備が必要	杏林大学	北島研究会
74	医療保険部 東浅川・大横・南大沢保健福祉センター	教育実習	医療・福祉・健康	その他	平成24年7月17～19日、24～26日、31～8月2日に老年看護学の実習	通年	1. 現場における実体験。	特になし	八王子市立看護専門学校	看護学科
75	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会に委員として参加していただいている。	2年	有識者としての意見と、会長として委員の皆さんの意見をまとめている。	特になし	法政大学	現代福祉学部教授
76	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	看護学校授業	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	子ども育成計画・子ども家庭支援センターの目的と役割を理解し支援の必要性について学ぶ	年間(随時)	子ども家庭支援センターの役割を知ると共に母子保健の観点から地域における子育て支援を考える場とする	特になし	市立八王子看護専門学校	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
77	子ども家庭部 保育幼稚園課	保育園・幼稚園巡回発達相談事業	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	保育園、幼稚園に通う障害児等に対して実施している巡回発達相談事業に発達相談員として協力している。	1年 (事業としては10年以上の実績あり)	1. 児童の継続的な発達支援の経過を観察し、学術的に巡回発達相談の効果を確認できる。 2. 通常の講師謝金(大学教授1時間1万3000円)に対し、大学側に依頼した場合は、2万円(5時間)で実施可能	特になし	帝京大学 首都大学東京	心理臨床センター 浜谷研究室
78	子ども家庭部 子どものしあわせ課	スキルアップ研修	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	子どもに関わる所管の全職員、事業受託者等を対象として市企画研修を実施し、子ども分野の業務のスペシャリストを育成する。	1年	子ども・子育てに関する専門的な知識や経験に基づく講義・演習等を行うことで、受講者の理解の促進、スキル向上につなげる。	特になし	日本大学	
79	子ども家庭部 児童青少年課	市立学童保育所選定委員会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	指定期間が満了する指定管理者の、優良事業者の適否の決定、応募書類の審査、評価、候補者の選定等	1年	学識経験者が委員として加わることで、八王子市立学童保育所の施設の管理を行う指定管理者を公正かつ適正に選定することができる。	特になし	東京純心女子大学	
80	子ども家庭部 児童青少年課	中高生企画事業「こどもシティ」	まちづくり	市の事業に大学等が協力	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。その特徴はこどもたちが、運営・準備・企画をおこなう点にあります。	10月～3月	美術、福祉など大学の特性を生かした体験事業を実施し、子どもにとって貴重な体験の場になっている。 大学生と子どもの交流の機会になっている。	特になし	大妻女子大学・首都大学東京 東京純心女子大学・中央大学 帝京大学・明星大学 法政大学・杏林大学 拓殖大学・サレジオ高専 東京家政学院大学 創価大学・創価女子短期大学	
81	子ども家庭部 児童青少年課	児童館まつり	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。	9月～10月	大学サークル活動の場、また大学生と子どもの交流のみでなく青少対・小中学校PTAをはじめ地域交流が図られた。	特になし	帝京大学 大妻女子大学 創価大学 創価女子短期大学 東京純心女子大学 首都大学東京 中央大学 明星大学 帝京大学短期大学 東京家政学院大学 拓殖大学 日本工学院八王子専門学校 東京工科大学	
82	子ども家庭部 児童青少年課	児童館施設実習の受け入れ	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	大学の保育実習の機会として市へ依頼し、実習の場を児童館が提供。	10月～12月	受け入れをきっかけに児童館まつりの大学生の協力が推進できた。	特になし	東京純心女子大学 首都大学東京 東京家政学院大学 法政大学 秋草学園短期大学	
83	子ども家庭部 児童青少年課	児童館アドベンチャーラリー	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館内・館庭にチェックポイントを設け、各ポイントで大学生の用意したゲーム等にチャレンジをしながら、全ポイントのクリアを目指す。	5月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	法政大学	ボランティアサークル「ニコスマ」

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
84	子ども家庭部 児童青少年課	大学生会議	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	各大学サークルに児童館の年間活動計画を説明し、児童館で行ってみたい活動について調整する。	4月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	明星大学 帝京大学 首都大学東京 中央大学	明星大学初等教育研究会 どろんこの会 帝京大学初等教育研究会 どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会 中央大学じゃりん子
85	子ども家庭部 児童青少年課	スポーツ活動	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	市民センター体育館等を使用し、子どもたちがスポーツができる環境を提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	創価大学 明星大学 帝京大学 中央大学	創価大学児童文化研究会 明星大学初等教育研究会 どろんこの会 帝京大学初等教育研究会 どんぐりの会 中央大学じゃりん子
86	子ども家庭部 児童青少年課	人形劇	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	大学生が創作した人形劇を子どもたちに披露する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	首都大学東京	首都大学東京児童文化研究会
87	子ども家庭部 児童青少年課	あそび活動	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	子どもたちに様々な集団遊びを提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	明星大学 帝京大学 首都大学東京 中央大学	明星大学初等教育研究会 どろんこの会 帝京大学初等教育研究会 どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会 中央大学じゃりん子
88	産業振興部 企業支援課	「地域産業論」 (産学公連携講義)	教育	検討会委員、講師派遣等に協力	当該大学(高専)の授業に市職員を派遣し、八王子の産業について講義する。	9月	学生の地元八王子の産業への理解を深め、将来の市内企業への就職意欲を高める。	特になし	東京工業高等専門学校	浅野教授
89	産業振興部 企業支援課	先端技術セミナー	産業振興	市の事業に大学等が協力	市内の中小企業を対象とした技術セミナーの講師	11月	中小企業に外国人を戦略的に雇用することで企業価値を上げることにつながる可能性があることなどの情報を紹介し、外国人を雇用・活用していくためのきっかけとする。	特になし	明治学院大学	教養教育センター 可部講師
90	産業振興部 産業政策課	中小企業魅力発見バスツアー	産業振興	市の事業に大学等が協力	工場見学や社長・社員との交流から市内中小企業の魅力を発見し、理解を深めるためのバスツアーを実施	2月	1、学生の募集 2、大学側の中小企業に対する認識を深める	特になし	大学コンソーシアム八王子	
91	産業振興部 産業政策課	webサイトはちおうじ就職ナビ	産業振興	市の事業に大学等が協力	はちおうじ就職ナビを、大学の企業説明会や面接会などで周知	4~3月	八王子市内の企業を学生に知ってもらえる機会を持つことができた。	特になし	大学コンソーシアムを通じて全大学 そのほか以下は個別にも 明星大学、創価大学、中央大学 拓殖大学、東京工科大学、杏林大学、 東京造形大学、多摩美術大学、帝京大学、首都大学東京、サレジオ高等専門学校	キャリアセンター など

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
92	産業振興部 農林課	道の駅八王子 滝山運営会議	産業振興	検討会委員、 講師派遣等に 協力	道の駅八王子滝山の市民サービス向上と効率的な運営について協議、検討する運営会議の委員を依頼。	任期2年 25年10月 中旬 ～27年3月 31日 年2回	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績などにより、有益な意見が得られる。	なし	杏林大学	
93	環境部 環境政策課	八王子環境 フェスティバル	環境	その他	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	実行委員会のメンバーに、大学生の立場として企画の段階から参画してもらうことにより、斬新で、新鮮な発想を取り入れることができる。また、大学相互の連携により、参加大学の広がり期待できる。	学業が優先できるよう開催日時などに配慮し、又、学生の力が出し切れるような環境づくりが重要である。	中央大学 創価大学 東京造形大学 工学院大学 サレジオ工業高等専門学校	
94	環境部 環境政策課	環境審議会	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項について調査審議し、答申する。	任期 2年	学識経験者として専門的見地から意見をいただくことにより、市の環境行政を適正に推進することができる。	特になし	中央大学 明星大学 首都大学東京 東京工科大学	
95	環境部 環境政策課	インターンシ ップ生の受け入 れ	環境	その他	東京都公認の人材育成制度であるECO-TOPプログラムに認定を受けた大学から依頼を受け、環境行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課、ごみ減量対策課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	特になし	首都大学東京	都市環境学部 自然・文化ツーリ ズムコース
96	環境部 環境政策課	環境に関する 授業の実施	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	学生が持続可能な社会を実現するためのデザインについて学ぶに当たり、社会の最新の動向を身に付けるため、自治体における環境活動をテーマに授業を実施	4月～7月	身近な地域の環境の現状と行政の取り組みの実態について知り、また実例に基づく課題の解決について考えることにより、社会において環境のために行動できる人材の育成に役立てる。	一定期間授業を行うため、講師となる職員にある程度の負担が発生する	東京造形大学	デザイン学科サス テナブルプロジェ クト専攻領域(山 際教授)
97	環境部 環境政策課	八王子市温暖 化防止セン ター運営委員 会	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市温暖化防止センターを運営するにあたり、大学及び学生の立場から運営体制、事業等について協議する。	1年	市内の様々な主体が連携、協力して温暖化対策を推進する組織の運営にあたり、大学及び学生の立場からの意見・提案を反映することができる。	特になし	東京工科大学(大学・学生) 東京家政学院大学 日本文化大学 中央大学 杏林大学	
98	環境部 環境政策課	地球温暖化対 策普及啓発イ ベント	環境	市が大学等に ボランティアを 依頼	地球温暖化防止について広く市民に関心を持ってもらうことを目的に、環境講演等の開催といった地球温暖化対策啓発イベントを実施する。	12月	市の環境行政に関心を持ってもらえるとともに、仕事を通じて学生の学業以外における人材育成の場を提供することができる。	特になし	帝京大学(学生) 東京工科大学(学生)	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
99	環境部 環境政策課	八王子環境 フェスティバル	環境	市が大学等に ボランティアを 依頼	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	自分たちの出展以外にボランティアに参加してもらうことにより、全体のつながりや連帯感を持って一つのイベントを作り上げていく意識が生まれる。	特になし	中央大学(学生) 帝京大学(学生) 東京造形大学(学生)	
100	環境部 環境政策課	工学院大学わ くわくサイエ ンス祭 理科教室	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	「つくる ふれる 楽しむ」をテーマに、小中高生に科学の楽しさを知ってもらう目的で開催されている理科教室において、人力発電電車を出展することにより、環境にやさしいエネルギーという切り口から環境教育を実施する。	8月	環境教育を実施し、未来を担う子どもたちに環境問題について考える機会を提供することができる。	特になし	工学院大学	
101	環境部 環境政策課	インターシッ プ生の受け入 れ	環境	その他	市・大学との間で覚書を取り交わし、行政に関心を持つ学生をインターシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	特になし	明星大学	
102	環境部 環境保全課	斜面緑地保全 委員会委員	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	「市街地内丘陵地のみどりの保全に関する条例」に基づき(1)保全区域の指定に関する(2)保全基準に関する(3)行為の届出の勧告に関する(4)重要事項について審議する。	2年	1. 専門的分野からの助言が得られる。 2. 現地調査等で、学生との協働が可能になる。 3. 研究の成果を活用することも可能になる。	特になし	創価大学 日本大学 中央大学	
103	資源循環部 ごみ減量対策課	新入生への啓 発チラシの配 布を依頼	環境	市の事業に大 学等が協力	新入生へのごみの出し方などの啓発チラシの配布を依頼	毎年3月頃	学生にごみやリサイクルについて関心をもってもらい、ルールに沿った出し方や分別をしてもらう一助となった	市外に住んでいる学生も多くいること	市内の全大学及び実践女子大・短大・東京家政学院大	
104	資源循環部 ごみ減量対策課	新入生へのオ リエンテーシ ョンの際のご みに関する啓 発	環境	その他	学生にごみの出し方のルールについて啓発をすることを目的として、新入生が集まるオリエンテーションの場を借りて市の職員がごみ出しのルールなどの話をする。	年度当初 (4月)	新生活をスタートをさせる学生を対象に話をすることで、ごみやリサイクルについて関心をもってもらい、ルールに沿った出し方や分別をしてもらうのに効果がある。	市外に住んでいる学生もいるという点	希望する市内の大学・短大・高専	
105	資源循環部 ごみ減量対策課	ごみゼロ社会 推進協議会委 員の依頼	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子学生委員会に「ごみゼロ社会推進協議会」の委員を依頼	任期2年	一般廃棄物の減量及び再利用の促進、またその適正な処理等の市の施策に関し、協議会委員である学生から意見を聴取することを目的とする。	特になし	八王子学生委員会	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
106	水循環部 水環境整備課 下水道課 環境部 環境政策課 環境保全課	流域レジリエンス(気候変動に適応する地域管理)	まちづくり 環境	大学等の研究 事業に市が協 力	気候変動に伴う季節、気象予測を数値モデルを用いて計算する。市街地の中心部を流下する浅川をモデルとして、流域のレジリエンス向上について研究を行う。	4年	河川工学、人間・社会基盤、下水、気象、生物など異分野の研究者が協働することにより、水環境行政に必要な予測データ等が、多角的、総合的な見地から提供される。また、市の50年に及ぶ気象観測データを提供、分析し、温暖化など気候変動の傾向を掴むことが可能となる。	特になし	東京大学	地球観測データ統合連携研究機構・水環境制御研究センター・生産技術研究所・大気海洋研究所・農学生命科学研究科・空間情報研究センター
107	水循環部 水再生施設課	膜分離活性汚泥法による下排水処理の研究協力	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	JST(独立行政法人科学技術振興機構)の事業であるCREST(戦略的創造研究推進事業)の研究課題である膜分離活性汚泥法による下排水処理の実験。	平成22年 7月から	膜分離活性汚泥法による下排水処理に関する研究と装置開発に寄与する。	特になし	工学院大学	工学部
108	都市計画部 都市総務課	八王子市都市計画審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	都市計画法に規定された審議会で、市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査・審議する。	-	専門領域から審議への知見の提供	必要な専門分野から適切な専門家を選任するための情報収集が難しい	工学院大学 首都大学東京	建築学部 まちづくり学科 村上准教授 都市環境学部 都市環境学科 建築都市コース 角田教授
109	都市計画部 土地利用計画課	八王子市都市計画マスタープラン検討委員会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	都市計画マスタープランの改定にあたり、市の検討内容への助言。	3年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	特になし	首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 建築学域 0 首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 都市基盤環境学域 0 工学院大学 建築学部 まちづくり学科	上野淳教授 吉川徹教授 0 小根山裕之教授 0 村上正浩准教授 篠沢健太准教授
110	都市計画部 都市計画課	都市復興マニュアルの策定	防災	市の事業に大 学等が協力	震災からの都市の復興を円滑に進めるため、復興の手順書として、「都市復興マニュアル」を策定するにあたり、専門家の立場から技術的サポートを受ける。	2年	1. 八王子市の地域特性を熟知した大学の専門知識を活用でき、より実用的なマニュアルを策定できる。 2. 大学にとっては行政側の経験等に関する特技を収集でき、調査研究に役立てることができる。	特になし	首都大学東京	都市環境科学 研究科 市古太郎准教授
111	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市まちづくり審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	地区まちづくり推進条例に規定された審議会で、市長の諮問に応じ、同条例に定めるまちづくりに関する事項を調査・審議する。	2年	専門領域から審議への知見の提供	必要な専門分野から適切な専門家を選任するための情報収集が難しい	工学院大学 首都大学東京	建築学部 野澤教授 都市環境科学研究科 伊藤准教授、饗庭准教授
112	まちなみ整備部 住宅政策課	八王子市営住宅管理審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市営住宅の適正な管理運営を図るため、市長の諮問に応じ、市営住宅の管理計画及び管理に関する重要事項について審議する。	任期 2年	専門的な意見をいただくことが可能である。	とくになし。	共立女子大学(～H25.8.14) 首都大学東京(H25.8.15～)	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
113	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市景観 審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	本市景観条例に規定された審議会 で、市長の諮問に応じ、同条例に定め る良好な景観形成の推進に関する事 項を調査・審議する。	2年	1. 専門家に意見を求めることで、 議論の内容が深まる。 2. 専門家が会議のとりまとめを行 うことで、円滑な審議会の運営が行 われる。	特になし	工学院大学(建築学部) 東京農工大学 武蔵野美術大学 首都大学東京(都市環境学部)	倉田教授 亀山名誉教授 吉田教授 川原准教授
114	道路交通部 交通事業課	小学生交通安 全絵画コン クール	教育	市の事業に大 学等が協力	小学生の交通安全の啓発を目的とし て、小学校3年生を対象とした絵画コ ンクール。優秀作品は秋の全国交通 安全運動のポスター(市独自作成)に なる。	12月～9 月 (年度をま たぐ)	専門家による選定により、公平でよ り良い交通安全ポスターができる。	特になし。	多摩美術大学	
115	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場 管理運営	まちづくり	市の事業に大 学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星 大学駅に313.69㎡の土地の無償提供 を受け(平成12年10月から)、自転車 駐車場として一般に開放。	4月～ 3月	平成24年10月の調査では、266 台の利用がある。	特になし。	中央大学	
116	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場 管理運営	まちづくり	市の事業に大 学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星 大学駅に257㎡の土地及び自転車駐 車場施設の無償提供を受け(平成16 年7月から)、一般に開放。	4月～ 3月	平成24年10月の調査では、109 台の利用がある。	特になし。	明星大学	
117	学校教育部 学校教育政策課	教育に関する 事務の管理及 び執行の状況 の点検及び評 価	教育	検討会委員、 講師派遣等に 協力	教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価を行うにあつ て、教育に関する学識経験を有する者 の知見の活用を図る。		専門分野における高度な知識に基 づいた意見を点検及び評価に活か すことができる。	特になし	帝京大学 大妻女子大学	
118	学校教育部 指導課	中学校水泳大 会	教育	市の事業に大 学等が協力	中学校体育連盟が主催する市内中学 生の水泳大会	H25.8.27	市内に大会が行える施設(50M プール)がなく、大学に依頼した場 合は無料で借りることができる。	特になし	東京工科大学	
119	学校教育部 指導課	パワーアップ 研修	教育	市の事業に大 学等が協力	教員の資質の向上を図るための市 独自の教員研修として、指導課・施策 推進委員会・資料作成委員会・学校・ 小中教研等が講座を企画・運営し、そ れぞれの課題に応じた研修を開設し、 325講座を実施した。	平成25年 度は5月14 日～3月31 日	大学から講師を招聘し、専門的で 高度な研修を受けることができる。 また、小・中教員の大学等に対する 理解を深めることができる。	特になし	明星大学、國學院大學、玉川大学、創 価大学、横浜国立大学、国士館大学、 法政大学、東京学芸大学、武蔵野短期 大学、東京女子体育大学、早稲田大 学、創価大学教職大学院、埼玉大学、 信州大学、鎌倉女子大学、工学院大 学、白梅学園大学、川崎医療福祉大 学、東京福祉大学大学院、東京理科大 学、淑徳大学、東京理科大学、法政大 学大学院、東京農工大学、山梨大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
120	学校教育部指導課	学校インターンシップ	教育	市の事業に大学等が協力	市内及び近隣の大学と教育委員会とで協定を結び、学生を実習生として市立小・中学校に派遣している。大学で単位認定される。25年度は11大学から約310名の学生を受入れた。 なお、平成23年度以降、臨床心理士を目指す大学院生の実習も学校インターンシップ事業に組み込み、小・中学校に院生を派遣している。	通年	教職を目指す学生に実習の場を提供するとともに、学校の授業や行事の補助的な指導に携わることによって児童・生徒の個に応じた指導が充実した。また、学校側では若い外部人材が入ることにより教職員もよい刺激を受けている。	学生の希望等により、各学校の受入れ数に差が生じる。交通費は学生の自己負担となっている。	創価大学、東京工科大学、多摩美術大学、帝京大学、明星大学、東京純心女子大学、法政大学、中央大学、都留文科大学、東京学芸大学、杏林大学、日本教育大学院大学	
121	学校教育部指導課	学術・文化・産業ネットワーク多摩	教育	その他	ネットワーク多摩に登録している大学から市立小・中学校に学生を派遣し、教育活動を通じて社会体験を深めてもらうボランティア活動。25年度は約31名の学生を受入れた。	通年	学校教育に興味をもつ学生の就業体験の場として活用されるとともに、学校側では若い人材を得て教育活動を充実させることができる。	学生への謝金の上限が5000円であるため、場合によっては学生自身の交通費等の負担が大きい。	中央大学、明星大学、帝京大学、大妻女子大学、玉川大学、法政大学	
122	学校教育部指導課	小学校科学教育センター	教育	市の事業に大学等が協力	土曜日及び夏季休業中に、希望する小学校6年生を対象として、科学の実験や観察、見学、自由研究などを行っている。	6月～2月	児童に科学に対する興味・関心を高めることができる。大学等に対する理解を深めることができる。	居住地により、児童にとっては大学等までの行き来に時間がかかり、安全面の心配がある。	帝京大学 東京工業高等専門学校	
123	学校教育部指導課	教員研修実務研究	教育	大学等の研究事業に市が協力	教職大学院生に、本市教育センターにおける教員研修の運営等に携わらせ、研修の企画・立案・運営等を学ばせる。 また、指導主事が大学に出向き、指導主事の役割等について、院生に対して講義を行っている。	10月	管理職や指導主事等、教員の指導的役割を担う職を目指す教職大学院生に教員研修の実務を学ばせ、資質の向上を図っている。	特になし	創価大学教職大学院	
124	学校教育部指導課	学校臨床実習	教育	大学等の研究事業に市が協力	臨床心理士を目指す大学院生を小・中学校に派遣し、実習させている。大学院が単位認定し、平成23年度以降、学校インターンシップ事業の一部として実施している。	9月からおよそ半年の間	小・中学校においては、教育相談の活性化を図ることができ、児童・生徒の相談役等として児童・生徒理解も進んでいる。	特になし	創価大学大学院	
125	教育総務課	創価大学児童文化研究会による夏期講習及び人形劇・パネルシアター	教育	大学等の研究事業に市が協力	創価大学の学生が長房小の児童に学習支援や人形劇を提供する。	7月末～9月(大学の夏季休暇中)	学生の研究成果を活用することができる。	特になし	創価大学	創価大学児童文化研究会
126	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課	「生涯学習コーディネーター」養成講座	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市民に生涯学習の情報を提供し、支援していく「生涯学習コーディネーター」を養成する全6回の講座を(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩の協力で実施した。	H17.5～9 H18.6～9 H19.11～12 H20.9～11 H21.8～10 H22.6～7 H23.10～12 H24.5～7 H25.5～6	受講生を広域募集できる。	特になし	(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
127	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課	生涯学習フェスティバル	生涯学習	その他	市と八王子市学習支援委員、八王子生涯学習コーディネーター会の共催事業で、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりと学習成果の発表、市民相互の交流の場として開催した。	H17.10 H18.10 H19.10 H20.10 H21.10 H22.10 H23.10 H24.10 H25.10	舞台発表の進行管理、雑誌のリサイクル、記録写真の撮影、スポーツレクリエーション、体験コーナー補助等多岐にわたり主催者とともに活躍していただき、事業を円滑に進めることができる。	特になし	法政大学	
128	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	八王子市民水泳大会	生涯学習	市の事業に大学等が協力	主催が教育委員会とNPO法人八王子市体育協会で、法政大学の50m屋内プールを利用した競技(クロール、平泳ぎ、背泳、バタフライ)で、八王子市水泳連盟(主管)に事業委託している。	H20.9.14 H21.9.13 H22.9.12 H23.9.11 H24.9.9 H25.9.8	大学担当課の全面協力によりスムーズな進行ができ、また、環境の整った施設での大会のため、毎年300名を超える参加があり、水泳を楽しむ人の目標の大会になっている。	なし	法政大学	保健体育部 多摩体育課
129	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	H26.1.26	イベントの現場のみで感じられる緊張感、一体感を共有することができる他、異なる団体が1つの目的により連携する体験ができた。	特になし	東京工科大学	
130	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	ソフトボール教室(主催)	生涯学習	その他	ソフトボール場を日頃使っていたいいる皆さんと子供達の育成・愛好者拡大を目的に、関係著書を多く持っているソフトボール界最高の講師にプレーの基本となるバッティング、フィールディング、ピッチングを実演を交えて実施した。	H24.6 H25.6	(1)参加者に、日本一早い投球のほか高度なプレーに触れる機会ができた。(2)普段は利用しない子供達や引率をしてくれた方達のみならず、ソフトボール界のトップに精通している講師にもソフトボール場のアピールができた。	なし	早稲田大学	ソフトボール部
131	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	関東大学ラグビー公式戦(後援)	芸術・文化	その他	市民へのスポーツ促進の一環として、ハイレベルなスポーツの観覧機会の提供を目的として企画した。	H24.11 H25.11	観覧者も多くメディアの取り扱いも大きいので上柚木公園の運動施設全体を多くの方々に知っていただける良い機会となっている。	なし	拓殖大学	ラグビー部
132	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	ジュニアランニング教室(主催)	教育	その他	上柚木公園陸上競技場でジュニアを対象として、短距離走のスピードアップを目指し、法政大学の学生と一緒に、主としてハードルを使った歩幅の調整、腿上げ、腕振り、姿勢等々を中心に教室を実施した。	H25.1 H26.1	上柚木公園陸上競技場では、各団体主催の大会は多く行なわれているが、個々の技術指導を元五輪日本代表の指導者と現役学生の指導を基礎から指導していただく機会はあまりないので良い企画となった。	なし	法政大学	陸上部
133	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 スポーツ事業課	タグラグビー教室(主催)	生涯学習	その他	学習指導要領にも取り入れられており、年齢性別を問わずに楽しむことができるタグラグビーを体験する機会を提供する。	H25.3 H26.3	参加者の指導にあたり、大学生の協力があることは、技術面のみならず交流面でも有意義である。	なし	拓殖大学	ラグビー部

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
134	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習センター川口分館)	家庭教育講座	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	パイプオルガンに触れてみよう	H17.7.30 H17.8.2 H19.8.8 H20.8.8 H21.8.4 H22.8.6 H24.8.4 H25.8.3	普段触れる機会のない「パイプオルガン」を間近に見て、構造を知り演奏をしてみるという特別な体験を市民(小・中学生とその保護者)に提供できる。	特になし	東京純心女子大学	
135	生涯学習スポーツ部 こども科学館	親子化学実験教室	生涯学習	市の事業に大学等が協力	夏休みの講座のひとつとして、首都大学東京の学生の化学サークルのメンバーが講師となって、準備、実施等をおこない、親子ではずむスライムと瞬間冷却剤を作った。	毎年8月	1. 講師役の学生たちは薬品等の扱いに慣れているため、参加者は、安全に薬品を使い、身近な物を作る経験ができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考ええる。	薬品の購入についてなど、事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	首都大学東京	化学サークル(TMU-SFC)
136	生涯学習スポーツ部 こども科学館	科学実験ショー	生涯学習	市の事業に大学等が協力	実験教室への申込者に対して、草木染めとスライム作りの教室を開催。オリエンテーションホールで、来館者に対して、液体窒素を使った科学実験ショーを開催。	毎年8月	1. 講師役の学生たちは他でも講座を行って慣れているため、参加者は、安全に薬品を使って講座に参加することができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考ええる。	事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	工学院大学	理科教育センター
137	生涯学習スポーツ部 こども科学館	博物館実習生の受入	その他	大学等の研究事業に市が協力	学芸員実習生を受入、10日間の実務をする	平成23年～	特になし	特になし	中央大学 東京工芸大学 東京造形大学 成蹊大学 東京工業高等専門学校	
138	生涯学習スポーツ部 こども科学館	バルーンアート講座(夏休み)	生涯学習	市の事業に大学等が協力	夏休みに講座の一つとして、学生が主体となり、バルーンアート講座を行った。	毎年8月	1. 本館のPRならびに、来館者を楽しませることが出来る。 2. 学生にプレゼンテーション等を行う機会を提供できる。	特になし	大妻女子大学	バルーンアート同好会「ぼろん。」
139	生涯学習スポーツ部 こども科学館	八王子「宇宙の学校」	生涯学習	市の事業に大学等が協力	年4回開催する子ども科学教室と家庭学習を組み合わせ、より探究心の強い子ども達の育成を図る。	平成24年～ 毎年 年4回	学生が講師の補助役として、普段関わりのない年齢層(親子)を指導する機会を提供できた。	特になし	東京工科大学 拓殖大学	
140	図書館部 中央図書館	紹介状発行による市民の大学図書館利用	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市図書館が紹介状を発行することで、市民が大学図書館で閲覧・複写等のサービスを受けることができる。	通年	八王子市民が直接利用ができない大学図書館を八王子市の図書館を通すことによって個人で利用ができる。	特になし	市内各大学など	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成26年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
141	選挙管理委員会事務局	選挙時における投・開票事務への学生アルバイトの導入	その他	市の事業に大学等が協力	各投票所での受付業務及び開票作業への従事	選挙時	若年層への選挙啓発及び選挙事務に従事する市職員数の減	採用決定後のキャンセル及び当日の欠席	工学院大学、明星大学、帝京大学、東京造形大学、東京工科大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、共立女子大学、首都大学東京、東京純心女子大学、山野美容芸術短期大学、東京家政学院大学	
142	選挙管理委員会事務局	選挙時における啓発活動	その他	市の事業に大学等が協力	学校構内の選挙公報備え置きの協力	選挙時	若年層への選挙啓発	特になし	創価大学	
143	議会事務局 議事課	議会定例会開催ポスター	その他	市の事業に大学等が協力	定例会開催のポスターとビラを大学へ送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	特になし	地域23大学等	